

令和 2 年度の進め方

1 検討の方針と手順

(1) 方針

(経過)

令和元年度の検討では、専門的視点から、新たな劇場整備の必要性、目標像、さらに、整備候補地の選定、運営のあり方などを取りまとめた。一方で、新たな劇場整備の事業化に向けての大切な判断材料となる事業計画の見通しについては、議論が十分とは言えず、課題が残されていることを指摘した。

(検討の視点)

本検討委員会では、事業化を判断するために必要な題材として、提言で指摘している課題などを検討することとする。あわせて、横浜市を取り巻く環境や将来の見通し、さらに、国の文化芸術施策との関係など多方面の見地から、事業化に向けた一定の見解を示すこととし、実現性をふまえた成果としたい。

(2) 手順

- ・基本計画や管理運営の内容といった施設を想定した具体的な作業を進める。
- ・まずは、事業化のための判断の材料として、施設計画の概要、事業計画、整備や運営に伴う資金計画、財源確保などを検討し、提言として取りまとめを行う。
- ・その後、基本計画や管理運営に関する作業に対し、検討委員会として指導助言を行い、市が成果を取りまとめる。

2 体制

- ・検討委員会とともに、事業計画の見通しについての議論を深めるため、委員長指名によるメンバー(外部の臨時委員の参加あり)で構成される専門部会として、管理運営検討部会、基本計画検討部会を設置する。
- ・なお、各部会での検討結果をふまえ、検討委員会で審議し、検討委員会としての成案として取りまとめる。
- ・また、共通する課題があり、管理運営及び基本計画の両面から検討が求められる場合は、合同部会を開催する。

■管理運営検討部会名簿案

(五十音順、敬称略)

氏名	役職	分野	備考
天沼ひかる	横須賀芸術劇場副館長 公益財団法人横須賀芸術文化財団 業務部長	文化芸術 (劇場運営)	臨時委員
内田裕子	経済ジャーナリスト ハーベイロード・ジャパン副代表	経済	臨時委員
高橋進	株式会社日本総合研究所 チェアマン・エメリタス	公共経済 都市経営	現：新たな劇場整備 検討委員会 委員長
藤野一夫	神戸大学大学院 国際文化学研究科教授	文化芸術	現：新たな劇場整備 検討委員会 委員
山中 隆	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール館長	文化芸術	臨時委員

■基本計画検討部会名簿案

(五十音順、敬称略)

氏名	役職	分野	備考
明石達生	東京都市大学 都市生活学部教授	まちづくり	現：新たな劇場整備 検討委員会 委員
倉田直道	工学院大学名誉教授 (元工学院大学建築学部教授)	建築	臨時委員
立川好治	有限会社ニケステージワークス 代表取締役	舞台技術	臨時委員
水野谷良子	株式会社ヴォートル 代表取締役	レセプション	臨時委員
本杉省三	劇場計画研究者 (日本大学名誉教授)	劇場計画 研究	現：新たな劇場整備 検討委員会 副委員長